



滋賀県議会議員

# 奥村よしまさ 県政レポート

Vol.71  
令和6年11月発行

Okumura Yoshimasa Kensei Report



## 先ず反省と信頼回復、そして日本を牽引!

先の衆議院議員選挙で自民党は多くの議席を失い、自公で過半数割れという結果となりました。私は前回に続き第三選挙区の選対本部長として活動いたしましたが、今回は逆風の中の本当に厳しい戦いになると覚悟をして臨んだ選挙戦でした。この逆風の一因でもあり自民党の信頼失墜に繋がった裏金問題については、私の元に届く地域の方々の声も非常に厳しいものがあり、それは15年前に起こった政権交代以来の危機であったと実感しています。

一度失った信頼を回復するのは容易ではありません。今後自民党は自らの過ちを猛省し信頼回復に努め、そして、国民の生活を守るために日本を牽引していかなければなりません。私も滋賀県の発展のために、さらに元気を出して頑張りたいと思います。

滋賀県議会9月定例会議にて下記項目について質問を行いましたので、一部抜粋・要約してご報告させていただきます。(令和6年9月27日一般質問より)

### 滋賀県新庁舎建設について

7月に自由民主党滋賀県議会議員団で平成29年に完成した長崎県新庁舎の視察に伺いました。旧庁舎は、昭和28年の建設で、老朽化や狭隘化、分散化、耐震性の不足が課題としてあったとのこと。これは滋賀県庁舎にも当てはまる課題ばかりです。長崎県では、昭和46年には庁舎建設特別委員会が設置され、平成元年には県庁舎建設整備基金条例を制定し、基金の積み立てを開始し、平成25年度末で369億円を積み立てられたとのこと。新庁舎では、免震構造や非常用発電など重要な防災拠点施設としての基準を確保し、エントランスを一時避難や医療活動の場として利用できる設計されています。また、照明のLED化や高効率な空調熱源システム、音声誘導装置、全階に多目的トイレを設置するなど、地球にも人にも優しい庁舎となっています。

### 矢橋帰帆島の活性化およびその中間水路について

近江八景「矢橋の帰帆」で有名な矢橋港は、江戸時代には旅人に重宝され、草津宿の発展にも貢献してきましたが、鉄道の開通に伴い廃港になり、現在は埋め立てにより矢橋帰帆島になっています。ここでは、昭和57年に下水処理場である湖南中部浄化センターが運用を開始し、公園も整備されていますが、人工島を囲む中間水路の水質の悪化や、公園施設の老朽化などが課題となっています。

草津市は、毎年県へ要望を行っており、近年では、令和元年度、2年度に、中間水路の埋め立てを要望しておられました。県からは、埋め立てについては、「滋賀県として琵琶湖はこれ以上埋め立てしない方針となっているため難しい。」との回答でしたが、全国の様々な事例を知っておられる県選出の国会議員が二人揃って埋め立ての方針を支持しています。どういう根拠に基づいて、中間水路の埋め立てが難しいとされていたのか、知事に伺います。



矢橋帰帆島

＜知事の回答＞  
「公有水面埋立法」では、埋め立てには知事の免許を受けなければならない、基準は県が定めています。その中では、目的、面積、場所などを考慮し、必要やむを得ないもの、かつ、他の方法によることができないものに限り認めることができると定めています。加えて環境保全の法令に適合しておりかつ琵琶湖の自然的、社会的環境を損なわないことが要件の一つとされています。

中間水路は、かつての内湖のような環境で、特殊な場所であり、最近琵琶湖の固有種を含む多くの種類の魚が産卵していることが明らかになっています。これらを総合的に勘案し、琵琶湖を埋め立てる行為は、琵琶湖の自然環境の保全上、重大な支障を生じる恐れがあり、原則認めないこととしていることから、難しいと判断しているところです。

矢橋帰帆島は、地元住民の皆さんや県民にとって、心より愛され、誇りとなる可能性を秘めていると思われませんが、今後の矢橋帰帆島全体にかかる活性化のビジョンを知事に伺います。

＜知事の回答＞  
矢橋帰帆島公園は、昨年度、施設の老朽化等の現状を踏まえて、地元地域と協議のうえ、活性化方針をまとめさせていただきました。子どもをはじめ、幅広い世代の方が何度でも訪れたい公園を目指すため、「子ども」、「びわ湖・矢橋帰帆・環境」、「健康」の3つの視点から園内各ゾーンのさらなる有効活用を考え、今年度から取組を進めているところです。

また、昨年度から庁内の「THEシガパーク推進会議」において、公園の魅力向上を図っているところです。さらに、琵琶湖側の都市公園湖岸緑地と連携して相乗効果を上げることで、歩くところも草茫茫ではないかということもできるだけ改善しながら、帰帆島全体の魅力の向上に努めてまいりたいと思います。

一方滋賀県庁舎は、各設備も付け足しで、議場はバリアフリーにはほど遠い状況であり、省エネ関連も非効率な設備、本館エレベーターは一つしか動いておらず、「子ども・子ども・子ども」と言いながら多目的トイレも少ない状況です。県は、誰にも優しい施設の整備について、県全体を引っ張っていく存在だと思えますが、現在の誰にも優しい県庁舎の整備状況について、どのように考えているのか、知事に伺います。

＜知事の回答＞  
「だれもが住みたくなる福祉滋賀のまちづくり条例」に基づく施設整備マニュアルに沿って、多目的トイレや出入口スロープ等の整備を実施しているところです。また、執務室等についても、対象職員の個々の障害特性に合わせた整備を実施しています。特に本館は、段差も多く、バリアフリー化が困難な箇所がありますが、工夫をしながら、あらゆる方にとって利用しやすい県庁舎となるよう、引き続き取り組んでまいります。

明治21年に今の土地に滋賀県庁が建設され、46年が経過し、昭和14年に今の本館ができました。それから85年が経過しています。今すぐの建て替えは無理でも、基金を設置し、25年後の長期的なビジョンで、建て替えを候補地も含めて今から検討する必要があると考えますが、知事の見解を伺います。

＜知事の回答＞  
長期的な視点に立って、文化財ではあるけれども古くなった県庁舎をどうしていくのかということは大変重要なテーマだと考えています。それを下支えするための、財政負担を平準化するという観点から基金積み立ても有効な方策の一つであると考えており、これまでも警察本部庁舎整備やうみのこ建造等、大規模事業の実施に基金の整備を行ってきたところです。このため、今後の県庁舎に関する検討の中で、基金の設置、いわゆるそういった基金に積み立てをするということについても考えていかなければならないと思っています。



滋賀県議会議員  
環境・農水常任委員会 / 議会運営委員会  
琵琶湖・森林政策特別委員会 / 決算特別委員会(委員長)  
関西広域連合議会  
議長

自民党滋賀県支部連合会 (地域での主な役職)  
会長代行  
第三選挙区支部  
幹事長

・社会医療法人「誠光会」理事  
・滋賀県生活衛生協会 顧問  
・滋賀県トラック協会 顧問  
・滋賀県電気工事工業組合 顧問  
・滋賀ビルメンテナンス協会 顧問

活動日記毎日更新中!  
奥村よしまさ 検索

LINE  
公式アカウント

# 奥村 芳正

事務所 〒525-0041 草津市青地町692-15 サンハイム東草津1F TEL:077-567-1500 FAX:077-567-1588  
自宅 〒525-0042 滋賀県草津市山寺町477 TEL:077-562-4841 FAX:077-567-1588

facebookも  
チェック! → 奥村芳正



# これまで行ってきた要望が着実に実現してきています!



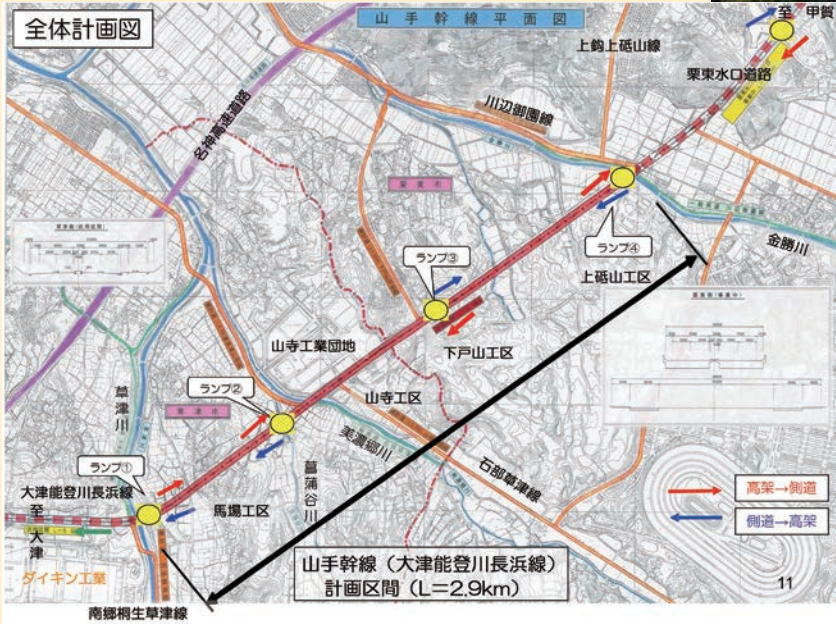
これまで県や国に対して要望し、実現に向けて動いてきた道路整備が着々と進行し、工事の完成が間近となってきました。こうして草津市民の皆さんの願いが成就し、安心・安全や生活向上が図られるということは、1市民としてはもちろんですが、議員としてその橋渡しの一助を担えたということに大変喜びを感じております。

この他にも、草津市が県や国に要望していることはたくさんあります。これからも少しでも多くの要望が1日でも早く実現できるよう、しっかり後押ししていきたいと思っております。

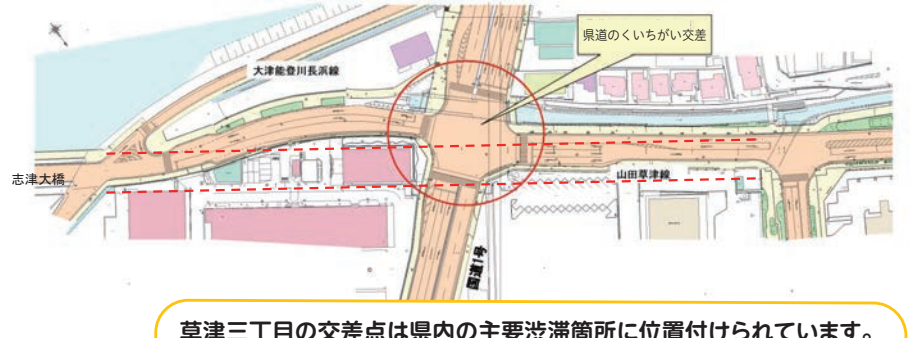
## ●山手幹線(大津能登川長浜線)〈令和7年9月供用開始予定〉



山手幹線完成イメージ(馬場高架橋)



## ●草津三丁目交差点の改良〈令和7年3月完了予定〉



草津三丁目の交差点は県内の主要渋滞箇所位置付けられています。改良工事によって、県道の線形を見直して「くいちがい交差」を解消するとともに、県道を拡幅して渋滞の緩和と交通の円滑化が実現します。

## ●若草交差点歩道橋の設置〈令和7年9月完成予定〉



危険な通学路の安全対策として早期設置が望まれていました。

## 草津市市政功労者表彰

多年にわたり草津市における市政の振興に貢献、また市民の模範となる行為をされた方々が表彰されています。皆様のこれまでのご功労に敬意を表し心より感謝申し上げます。

自治功労	
<b>市議会議員として</b>	<b>消防団員として</b>
遠藤 覚	田中 一典
土肥 浩資	釣谷 浩志
永井 信雄	東田 栄治
中島 美穂	堀井 武志
山元 宏和	松島 利行
横江 政則	山本 和明
<b>町内会長として</b>	<b>審議会委員として</b>
荒木 博子	五十川 伸矢
大西 正行	
奥村 正之	
花本 正夫	
林 栄治	

〈敬称略〉



## 社会功労

社会福祉の向上	保健衛生の向上
高岡 由喜晃	浅野 信行
中西 真由巳	杉浦 久嗣
草津市肢体不自由児者父母の会	中嶋 順子
草津市身体障害者更生会	橋本 和廣
草津市精神障害者家族会ひまわりの会	鮎川 幸一郎
ゆうゆう老上	<b>青少年の健全育成</b>
わくわく健康マージャン	塚田 千代美
あそぼー会	<b>産業の振興</b>
下物町ほのぼのサークル	伊藤 定雄
上寺町ほのぼのサークル	北村 良藏
きらく会	<b>体育の振興</b>
中五ゆうゆう会	吉川 伸司
なごみ会	堀井 三廣
長束町ほのぼのサークル	森 俊一
懐メロを歌う会	<b>環境保全の推進</b>
鳩が森町地域サロン	湖南企業いきもの応援団
陽だまり	
ボランティア-灯	
吉田町吉楽会	
若竹ほのぼの会	

〈敬称略〉

10月12日の市制施行70周年記念式典にて表彰が行われました。

